

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成18年3月30日(2006.3.30)

【公表番号】特表2005-518929(P2005-518929A)

【公表日】平成17年6月30日(2005.6.30)

【年通号数】公開・登録公報2005-025

【出願番号】特願2003-572680(P2003-572680)

【国際特許分類】

B 0 1 J	29/85	(2006.01)
B 0 1 J	35/10	(2006.01)
B 0 1 J	37/03	(2006.01)
B 0 1 J	37/04	(2006.01)
B 0 1 J	37/08	(2006.01)
C 0 7 C	2/84	(2006.01)
C 0 7 C	11/04	(2006.01)
C 0 7 C	11/06	(2006.01)
C 0 7 B	61/00	(2006.01)

【F I】

B 0 1 J	29/85	Z
B 0 1 J	35/10	3 0 1 J
B 0 1 J	37/03	Z
B 0 1 J	37/04	1 0 1
B 0 1 J	37/08	
C 0 7 C	2/84	
C 0 7 C	11/04	
C 0 7 C	11/06	
C 0 7 B	61/00	3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月7日(2006.2.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

分子篩、並びに少なくとも一つの、元素周期表4族から選ばれる金属の酸化物を含有する触媒組成物であり、前記金属酸化物が、100において、少なくとも0.03mg/金属酸化物m²の、二酸化炭素の取り込みを有する、触媒組成物

【請求項2】

活性な4族金属酸化物及び2族及び/又は3族金属酸化物、バインダー、マトリックス物質及びシリコアルミノ磷酸塩分子篩を含有する分子篩触媒組成物。

【請求項3】

分子篩を含有する第一の粒子を、4族金属酸化物を含有し、100において、少なくとも0.03mg/金属酸化物粒子m²の、二酸化炭素の取り込みを有する第二の粒子と、物理的に混合することを含む、触媒組成物を生成する方法。

【請求項4】

分子篩、及び100において、少なくとも0.03mg/金属酸化物m²の、二酸化炭

素の取り込みを有する活性な4族金属酸化物を含有する触媒組成物の存在下で、供給原料を一つ以上のオレフィンに変換する方法。

【請求項5】

分子篩、バインダー、マトリックス物質、並びにバインダー及びマトリックス物質とは異なる金属酸化物の混合物を含有する分子篩触媒組成物の存在下で、供給原料を一つ以上のオレフィンに変換する方法。